

## 『一服のお茶でくつろぐひととき 表千家』

表千家同門会愛知県支部参与 近藤宗教先生  
表千家同門会愛知県支部幹事補佐 坂井由起子先生

### 『教えることが元気の源』

表千家と石田流の講座を30年以上ご指導くださっている近藤先生。ご自身にとって茶道華道は何ですかと問いかけたところ、“元気の源”という答えが返ってきました。生徒さんがいると思うと気持ちに張りが出て、いつまでも健康でいられるとのこと。「お茶会の日、もの凄くエンジンがかかり、この歳になっても厳しい声を上げて指導しているのよ」と続けて語られる口調は朗らかで、まさにお元気そのもの。

近藤先生が表千家と出会ったのは中学1年。お友達の家で習い始めたのがきっかけ。華道は石田流に魅せられ池坊から転換。どちらも育てた生徒さんは数えられないほど。2つの高校のクラブも長年指導され、地元にも貢献されてきました。「続けていると様々なことがあり、自ずと辛抱強くなったけど、それでも今思えば楽しかったことばかりね」と振り返られ、昭和50年代の全盛期を過ぎた今もその思いは変わらないとのこと。



良かった点は、相手を思いやる気持ちが備わったこと。傍らで娘さんの坂井先生に見守られ、顔を見合わせながらお話くださる姿は微笑ましく、二世代で指導できることを何より喜んでいらっしゃる様子が伝わってきました。

お花を活ける空間は、床の間から玄関、リビングに変わりつつありますが、生花で季節を感じ、おいしいお茶でくつろぐひとときを暮らしに取り入れてみませんか。男性も歓迎します。

☆会員さんに聞いてみました！

Q：近藤先生を花に例えると？

A：白ユリ・・・凛としてやさしいから  
赤い牡丹・・・幹が太く華やかだから